

昨年度の事業報告と今年度の事業計画について

中国・四国ブロック

広島大学病院

[病院概要](#)
[ご来院のみなさまへ](#)
[診療科・部門のご案内](#)
[施設のご案内](#)
[ご相談窓口](#)
[Home](#) > [広島大学病院](#) > [小児がん拠点病院](#)
[概要](#)
[ご来院のみなさまへ](#)
[診療科・部門のご案内](#)
[施設のご案内](#)
[ご相談窓口](#)
[がん治療センター（がん診療連携拠点病院）](#)
[小児がん拠点病院](#)
[> 小児がん拠点病院とは](#)
[> 診療実績](#)
[> 小児がん医療相談](#)
[> スタッフ紹介](#)
[> 中国・四国ネットワーク](#)
[> ファミリーハウス](#)
[> 小児がんに関する臨床研究](#)
[> 中国・四国地域の小児がん患者さんご家族のためのサポートブック](#)

小児がん拠点病院

平成25年2月、広島大学病院は「小児がん拠点病院」に指定されました。 [厚生労働省・報道発表](#) 



小児がん拠点病院

[小児がん拠点病院とは](#)
[セカンドオピニオンについて](#)
[ファミリーハウス](#)
[診療のご案内](#)
[スタッフ紹介](#)
[小児がんに関する臨床研究](#)
[診療実績](#)
[中国・四国ネットワーク](#)
[サポートブック](#)
[小児がん医療相談](#)
[新聞報道](#)
[外部情報サイト](#)

昨年度の事業報告・今年度の事業計画

- 中国四国ブロック連絡協議会（年1回開催）
- 医師間テレビ会議（年9回開催）
- 看護カンファレンス（年9回開催）
- 中国・四国ブロック小児がん看護研修会（年1回開催）
- 相談支援部会（年2回開催）
- 小児がんの子どもの教育セミナー（年1回開催）
- 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議への参加
- AYA世代キャンサーボード開催
- 広島がん・生殖医療ネットワーク（HOFNET）への参加
- 国際共同臨床試験への参加：肝芽腫、胚細胞腫瘍

第7回中国四国ブロック連絡協議会（年1回）

（出席者：連携病院医療者，各県のがん対策部署，教育委員会，
がんの子どもを守る会支部代表）

2020年1月11日

- 中四国ブロックの連携体制各施設の現況報告
- 長期入院中の高校生に対する教育支援について
- 妊孕性温存治療等に関するアンケート結果報告
- 小児がん地域計画について 他

【小児血液・がんセミナー in 中四国】

- 造血・免疫不全症に対する細胞療法
- 小児脳腫瘍の長期フォローアップ 他

出席者数（協議会）

医師：38名

看護師：4名

行政：6名

がんの子どもを守る会：2名

その他：3名

合計：53名

2020年度 中国四国ブロック
連絡協議会

2021年1月9日 開催予定



医師間テレビ会議（2019年度：9回開催）

回数	日時	参加者	内容
第59回	2019/4/24	15病院医師 広島県職員	今年度の会議開催予定及び症例提示担当について 研修会等開催予定について 症例検討：急性リンパ性白血病の維持療法中にサイトメガロウイルス 網膜炎を発症した男児 WT1ワクチン免疫療法の治験について
第60回	2019/5/22	18病院医師	地域ブロック協議会の要件及び小児がん連携病院の指定等に関わる 厚労省課長通知（案）について 西日本小児血液・免疫・腫瘍研究会について 症例検討：硬膜下水腫を合併したMLL陽性乳児ALLの1例 慢性肉芽腫性腸炎に対するサリドマイド治療の治験について
第61回	2019/6/26	19病院医師 看護師 広島県職員	第10回小児がん拠点病院連絡協議会報告 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会に ついて 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会及び中国・四国ブロック 小児がん相談支援部会報告 症例検討：無治療経過観察を行っている18 trisomy患児に発症し た肝芽腫の1例 小児がん地域計画書の策定について 小児がん連携病院の指定要件について
第62回	2019/7/24	18病院医師 広島県職員	小児がんの子どもの教育セミナー開催案内 第61回日本小児血液・がん学会学術集会案内 中国・四国地区移植拠点病院セミナー案内 症例検討：Ewing肉腫の治療中にイホスファミド脳症を合併した 15歳女児，新生児大腿部腫瘍 小児がん地域計画書の策定，連携病院の指定要件について

医師間テレビ会議 (2019年度：9回開催)

回数	日時	参加者	内容
第63回	2019/9/25	15病院医師 広島県職員	厚生労働省健康局がん・疾病対策課長通知について 小児がん連携病院の現況報告書について 令和元年度第3回造血幹細胞移植推進拠点病院四国ブロック セミナー「移植後のQOLと長期フォローアップ」案内 小児がんの子どもへの教育セミナー報告 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会報告 症例検討：中枢神経浸潤の判断に苦慮したAMLの1例 小児がん地域計画書，連携病院の指定要件，指定申請について
第64回	2019/10/23	18病院医師	令和元年度第3回造血幹細胞移植推進拠点病院四国ブロック セミナー「移植後のQOLと長期フォローアップ」について 小児血液・がん学会学術集会案内 第66回小児がん中国・四国ネットワーク会議について 小児血液・がんセミナー in 中四国案内 症例検討：再寛解導入療法中に帯状疱疹を発症したALLの一例 厚生労働省への提出書類について 妊孕性温存治療等に関するアンケート実施について
第65回	2019/11/27	17病院医師 広島県職員	第5回小児がんフォーラム in 岡山案内 中国・四国地域がんプロ養成コンソーシアムの紹介 第66回小児がん中国・四国ネットワーク会議について 症例検討：陽子線と同時併用化学療法で治療した節外性 NK/T細胞リンパ腫（鼻型）の症例 妊孕性温存治療等に関するアンケート実施について JACLS運営委員・各疾患委員の改選について

医師間テレビ会議 (2019年度：9回開催)

回数	日時	参加者	内容
第67回	2020/2/26	16病院医師 看護師 広島県職員	第11回小児がん拠点病院連絡協議会報告 フォローアップ手帳の配付について 小児がん連携病院指定書の発行について テレビ会議システムに関する申し合わせの一部改正について 症例検討：横紋筋肉腫を発症したLi-Fraumeni症候群の1例, 急性未分化型白血病Acute Undifferentiated Leukemiaに対する治療の相談 小児がん地域計画書(2020年度)について
第68回	2020/3/25	15病院医師	次年度小児がん中国・四国ネットワーク会議の開催予定について 小児がん地域計画書(2020年度)について テレビ会議システムに関する申し合わせの一部改正について 症例検討：ブリナツモバムによるsalvage療法後にCAR-T 治療を行った再々発ALLの1例

2020年度 医師間テレビ会議

第69回 2020/4/22, 第70回 5/27 開催済み

6/24, 7/22, 9/23, 10/28, 11/25, 2021/2/24, 3/24 開催予定

看護カンファレンス（2019年度：9回開催）

回数	日時	参加者	内容
1	2019/4/24	18病院看護師	環境衛生へ取り組み意識が低い家族へのアプローチや、対応・工夫について
2	2019/5/29	18病院看護師	終末期にある子どもの家族の意思決定支援について 骨髄抑制中の授乳について、骨髄移植治療後の公共機関利用について
3	2019/7/24	17病院看護師	プレパレーションについて
4	2019/8/21	15病院看護師	発達障害のある患児へのケア 骨髄抑制中の食事制限およびパンフレットや配付物の活用について
5	2019/9/25	17病院看護師	小児がん看護の教育体制，中四国ブロック小児がんカンファレンスの参加状況について
6	2019/11/27	17病院看護師	退院後の継続支援に向けた情報把握、外来との連携について 子どもの内服困難への対応について
7	2020/1/22	15病院看護師	苦痛緩和や症状マネジメントが困難な患児に対する看護について
8	2020/2/26	18病院看護師	長期フォローアップ・退院時支援について
9	2020/3/25	19病院看護師	発達障害のある脳腫瘍の子どもへのケア・鎮静方法について

※2015年度～2019年度 計44回開催

2020年度 看護カンファレンス

2020/4/22, 5/20 開催済み

7/22, 8/26, 9/23, 11/25, 2021/1/27, 2/24, 3/24 開催予定

第6回中国・四国ブロック小児がん看護研修会

プログラム 2019年10月31日（木）-11月1日（金）会場：広島大学病院

	内容	講師
1	小児悪性固形腫瘍の標準治療 ～難治疾患に対する免疫療法の試み～	広島大学病院 小児科 唐川 修平 先生
2	小児がん患者の復学支援	国立成育医療研究センター 小児看護専門看護師 後藤 清香 先生
3	小児がんの高校生への教育支援	広島大学病院 公認心理師 井上 雅美 先生
4	プレパレーションを取り入れたケア方法の開発 -小児看護ケアモデルおよびチェックリストの活用-	県立広島大学 看護学科長 松森 直美 先生
5	処置・検査等におけるプレパレーションを取り入れた ケア方法の検討	県立広島大学 看護学科長 松森 直美 先生
6	意見交換（グループワーク） グループで実践例の紹介 チェックリストの活用 各施設から意見交換したいこと	（アドバイザー） 県立広島大学 看護学科長 松森 直美 先生
7	発表・まとめ グループワークでディスカッションした内容 を発表	

2020年度 第7回中国・四国ブロック小児がん看護研修会

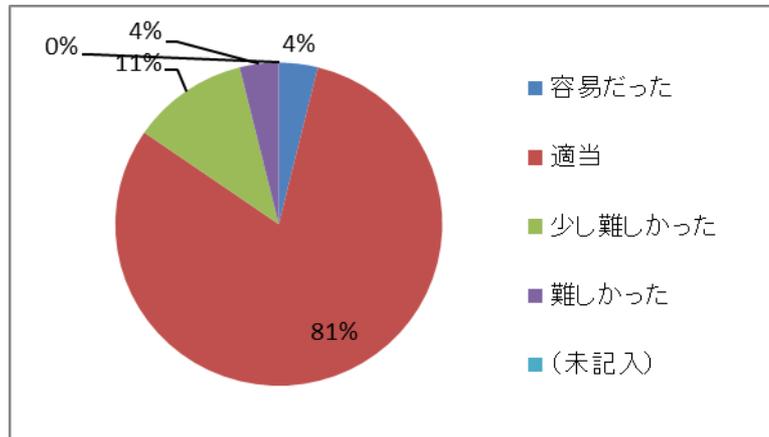
2020年10月22日-23日 開催予定

13施設 29名 参加



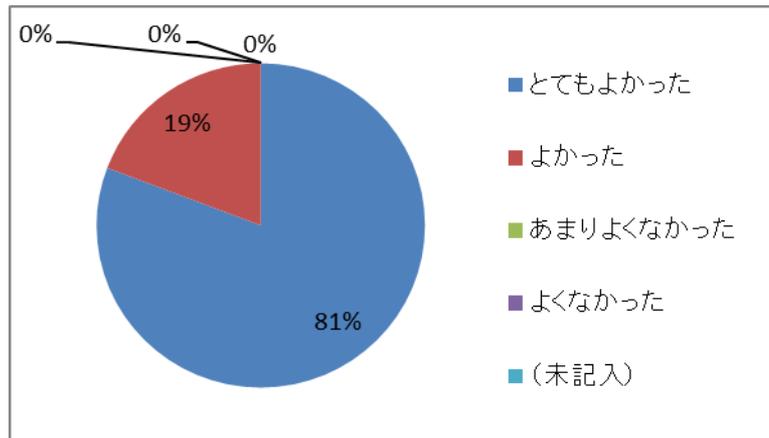
アンケート結果

今回の研修は現在のあなたにとって適当でしたか



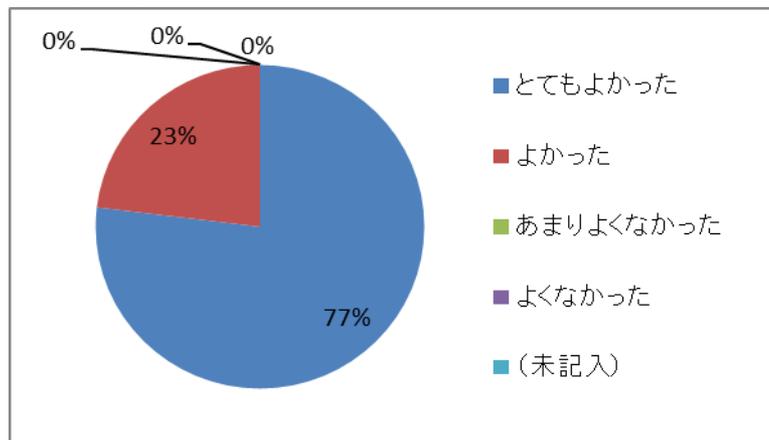
- 自分の看護を振り返る機会にもなり、良かった。
- 教育やプレパレーションなどあまり取り入れられていない内容についての話だったので参考になりました。
- 復学支援については、今まで体験したことがなく、少し難しく感じましたが、新しい学びになりました。
- 普段意識しにくい部分について学べた
- 他病院のケア方法や復学について知れて良かった。

講義内容について



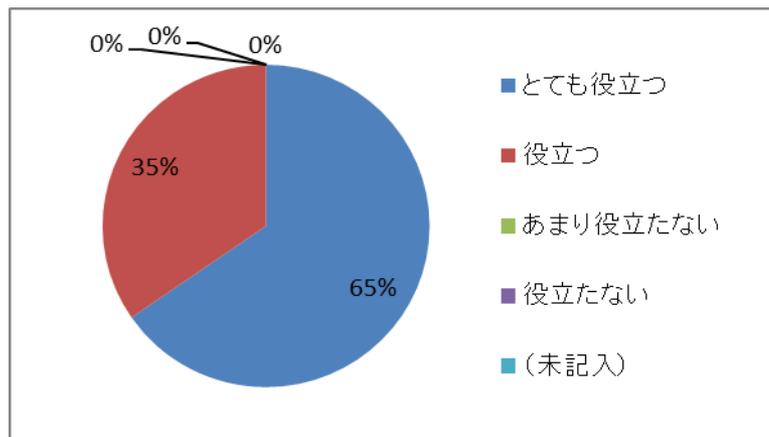
- くわしい治療のことや、高校生への復学支援についても知ることができた。
- 知らない事や驚くことが多く大変勉強になった。高校生の教育について考える良い機会になった。
- 今後、看護師として働いていく中でプロトコルを理解して子どもたちに関わっていきたいと思った。
- プロトコルを知り看護することの大切さを知れた。
- 治療、復学支援について分かりやすく理解ができた。
- 臨床ではなかなか学べないことを学べた。

意見交換（グループワーク）について



- 他施設でどんなケアをしているのかを知ることができ、悩んでいることは同じだなと共有することができた。
- 良いところを取りあげて、実践できそうなことを考えたことで今後の看護に活かせると思います。
- 他施設の取り組みを知ることが出来、貴重な機会だった。どうしていけばいいのかという次につながるディスカッションにもなった。
- 小児がんというところにとらわれず看護ケアについて深められた。

看護ケアに役立つと思いますか



- ケアモデルを活用し、児にとって適切であったかその都度振りかえりを行っていきたい。
- 倫理に基づいて振り返ることが大切なことを再認識できました。他スタッフにもケアモデルを示しながら自分たちを振り返ってみたいと思います。
- 明日からすぐにでも実践できることが多くあった。
- 子どもにも話をきいて、子どもの意見や気持ちを取り入れられる看護をしたい。
- 毎日、自分のケアを振り返る時に活用します。

相談支援部会（2019年度：2回開催）

回数	日時	参加者	内容
1	2019/6/26	18施設相談員	自己紹介および現状報告 第10回（2019年度第1回） 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会について 小児がん相談員専門研修開催について 小児がんの子どもの教育セミナーについて 会の運営について 小児がん患者さんご家族のためのサポートブックの見直しについて
2	2019/12/18	15施設相談員	第11回（2019年度第2回） 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会について 【講義】小児緩和ケアについて 小児がん患者さんご家族のためのサポートブックの見直しについて

※2016年度～2019年度 計9回開催

2019年度に中国・四国ブロック相談支援部会の協力を得て
「小児がん患者さんご家族のためのサポートブック（第2版）」を
発行した。

広島大学病院ホームページからもダウンロード可能

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/childhoodcancer/supportbook>

2020年度 相談支援部会

2020/6/24, 12/23 開催予定



第5回小児がんの子どもたちの教育セミナー

2019年8月31日（土）14：00～16：30
 広島県医師会館 2階 201会議室

参加人数：38名

教育関係者：16
 行政関係者：2
 医療関係者：12
 その他：8

小児がんの子どもたちの教育セミナー

今回の教育セミナーでは、「長期入院患者の高校教育を考える ～この1年間の取り組みをふりかえって～」をメイン・テーマとして取り上げます。
 教育関係者、医療従事者、患者とその家族など様々な立場から、これまでの取り組みについての意見交換を行い、小児がんをはじめ長期入院を必要とする患者が治療を受けながら安心して学業を継続できるように教育環境のさらなる整備に向けた連携の場とすることを目的として開催します。

開催日時 ▶ 2019年8月31日（土）14：00～16：30

開催場所 ▶ 広島県医師会館 2階 201会議室
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号

対象者

広島県内外の小・中・高等学校および、特別支援学校教員、養護教諭等
 教育委員会等の教育行政関係者
 小児がん医療に携わる医療従事者（医師、相談員等）

14：00 開会のあいさつ 広島大学名誉教授 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 小林 正夫 先生

- 第 1 部 - 講演

長期入院患者の高校教育を考える ～この1年間の取り組みをふりかえって～

14：05 「広島大学病院におけるAYA世代（思春期・若年成人）がん患者の診療」
広島大学病院 小児科 診療教授 川口 浩史 先生

14：25 「広島大学病院での高校教育支援の取り組み」
広島大学病院 小児科 公認心理師 井上 雅美 先生

14：40 「学校関係者などからの報告」

15：00 休憩

- 第 2 部 - 意見交換会

15：10 小児・AYA世代のがん患者が、長期入院中においても適切な教育を受けることができるよう良い環境を整備するために必要な支援等について、小児がん患者家族や医療従事者、教育関係者などによる意見交換を行います

16：25 閉会のあいさつ 広島大学病院 小児科 診療教授 川口 浩史 先生

主催：広島大学病院（小児がん拠点病院）／共催・後援：広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会

【教育体制の整備】

- ・市、県教育委員会との連携
- ・高校教育での遠隔・訪問教育→単位認定（進級）



2020年度 第6回小児がんの子どもたちの教育セミナー

開催予定（日付は未定）

参加申込は、WEB (<https://forms.gle/sgqefn9eR4x2JTYR7>) ・右記QRコードよりお願いします。
 難しい場合は広島大学病院医療支援グループへメールもしくはFAXでお知らせください。
 ☎ : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5279・5934

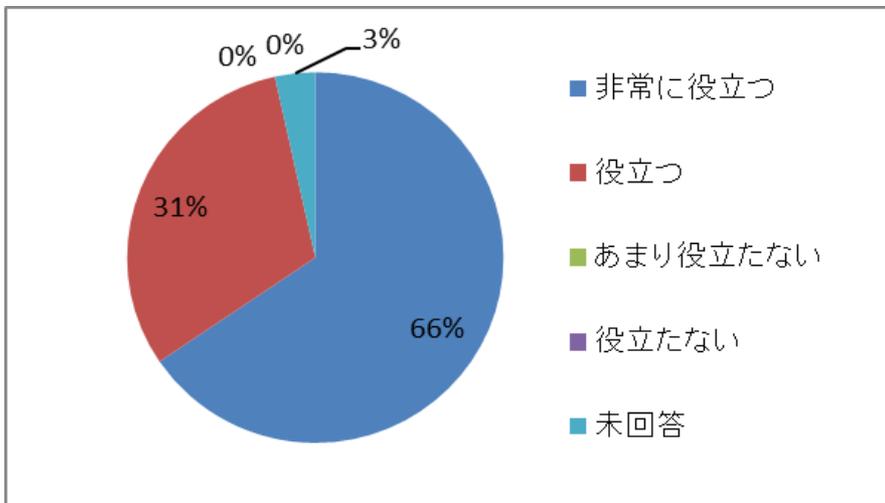


第5回小児がんの子どもたちの教育セミナー

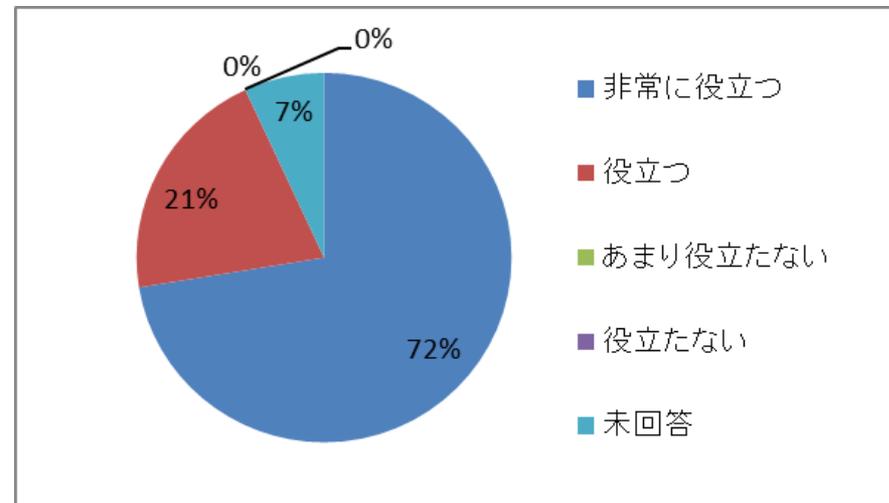
アンケート結果

本日のセミナーはいかがでしたか

第1部 講演



第2部 意見交換会



行政関係者：標準治療が確立していないように“標準行政サービス”も確立されていないと感じた。個別の取り組みを全県的に広めていくことが大切だと感じた。本日は大変勉強になりました。

高校教員：本校でも様々な事情を抱えた生徒さんたちが入学・転学して来ています。治療中・または長期療養中の生徒さんへの高校卒業のための学習支援に役に立つ話がきけたら・・・と参加させていただきました。具体的な支援の実践内容をきかせていただき、大変役に立ちました。

看護師：高校生の教育支援がすすんできていますが、本人、家族が多くの選択肢から治療と教育を考えて選ぶことができれば良いと思いました。また、高校教育者で情報共有し子どもの教育について考えていけると良いと思いました。医療者も現状に満足せずにより良い方法がないのか考えていけないといけないと感じました。

